



# 広報あびこ

NO. 83

36. 3. 1 号

千葉県我孫子町役場  
TEL. (あびこ) 42

毎月 1日 16日 発行 1部 2円  
昭和34年7月30日 第三種郵便物認可

## 県営渡船を利用する人ひとー待たれる手賀沼架橋

(本文2ページ参照)

# 庄 報 あ び こ

して、飼い犬も年々ふえているようです。昨年秋の登録犬数は五百五十頭でしたが、このときに登録したかった犬、その後に飼い始めた犬を合わせると千頭を越えています。五世帯に頭くらいの割合で犬が飼われているのではないかと思われます。毎日、戸ごとに配達してある郵便、新聞、牛乳の配達人や電気料金集金人などの人気を使ひ悩みに大の問題があります。配達や運送など、どのさい、飼い犬によって身体、被服、配達物などに被害をうけ、あるいは被害者をうけないまでも脅威をうけていることは相当にあります。また、これらのがために、放牧犬のためには広範囲で、飼い犬による被害が発生する中学校登校時における児童、生徒あるいは一般通行人が被害をうけたり、田畠や敷地内をあらざるるなど、公衆の被害は非常に多いです。

◆放ち飼いの実態をじゅうぶん承知している飼い主自身で解決すべき問題です。そこで、次のようなことを思っています。そこで、次回かかる事項を戒め守ってください。

◆犬は必ずつないでおき、放ち飼いしないこと。

◆門柱や家の入口などに注意を喚起するための表示を示すことがあります。

◆「犬に注意」などを出すこと。

◆飼い犬を捨てないこと。

「貧しいお友だちに」と

少女アーティスト

もつてきてくれました。  
さと子ちゃんは本当に  
友だちおもいですね。この  
友だちおもいではない。  
よい子のお手本だ  
だと思います。よい子の手本  
さんも読み終った本があ  
ったら、かわいそうな方お  
だちに見せてあげてください  
ね。

## 多い犬による被害

放ち飼いをしないよう

結ぶ県道船橋一取手線木賀  
沼架橋の地質調査費などと  
して、昭和三十五年度予算  
に六百万円を計上していま  
したが、梶原調査工事株式  
会社（東京都渋谷区桜丘町  
15）による架橋問題については  
この架橋問題については  
その調査結果によつて架橋設  
計に着手するはこびとなつ  
ております。

六年度は三十万円を予算としてほぼ完成の段階にまでつてゆき、昭和三十七年度において完成、開通の線で県に対して要望を重ねてまいりました。昭和三十九年度予算編成期にある現

**手賀沼架橋の地質調査始まる**

在はたしてどのいとの  
予算計上がなされたかはつ  
きりされていませんので、  
近日中に出発し、よくたし  
かめた上で詳細を報告いた

中町の人口		
(昭和36年1月31日現在)		
男	13,591人	(前月比12人増)
女	14,106人	( " 25人増)
計	27,697人	( " 37人増)
世帯数	5,705	( " 14 増)
	(男)	(女)
出生	18人	21人
死亡	11人	5人
転入	59人	58人
転出	54人	49人
		(計)
		103人

中島組の請負で進められている第一小学校増改築工事（三十八平方メートル）は一月十八日に入棟式が終り、三月中完成をめざして最後の仕上げを急いでおります。また、小島工務店の請負で行なわれている湖北中学校増築工事（三七七平方メートル）は二月二十二日に上棟式も終り、三月中完成めざし急ピッチで進められています。

郵便受箱などを設ける」と。  
◆畜犬の登録(年一回)と  
狂犬病予防注射(年二回)  
は必ず行なうこと。

度に、架橋工事が始まるとは間違ひありません。この手質沼架橋は、本町の細光、産業などに一大発展をもたらす要因の一つでありますので、今後も関係市町村がいながらとなつて、これが早期実現に努力を重ねてまいります。

